

令和2年度第2回一宮市総合教育会議 会議録

1 日時

令和3年3月19日（金）15時30分～16時15分

2 会場

一宮市役所 本庁舎 6階 特別会議室

3 出席者

市長 中野 正康
教育長 高橋 信哉
教育委員（教育長職務代理者） 鈴木 孝之
教育委員 平松 悦子
教育委員 野田 典子
教育委員 土川 正夫
教育委員 浅野 智貴
教育委員 浅井 衣子

4 事務局（10名）

堀川行政課長、戸谷行政課専任課長、滝野行政課課長補佐
野中教育文化部長、堀教育文化部次長、中村教育文化部総務課長、春日井学校教育課長、
櫻井学校教育課管理主事、長村教育文化部総務課専任課長、竹元学校教育課課長補佐

5 傍聴者

1名

6 議題

- (1) 新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方について

7 資料

- (1) みんなの制服プロジェクト委員会
- (2) 2年間のまとめ
- (3) 今後の展開

※会議の内容は次項のとおりです。

事務局

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただ今から一宮市総合教育会議を開催させていただきます。本日は、総合教育会議の設置に関する要綱及び傍聴に関する要領に基づき1名の方に傍聴いただいておりますのでよろしくお願いたします。それでは、会議に先立ちまして、市長からごあいさつを申し上げます。

市長

みなさん、こんにちは。今日の午前中に小学校で卒業式がありまして、1年前の3月18日、卒業式の前日に一宮市内で初めてお子さんの新型コロナウイルスの感染が確認されて、しかも愛知県内で初めてのことで、夜遅くまで対応を協議していたことを思い出します。あれから、休校もありましたし、教育委員の皆さんにご指導をいただきながら見えない敵と戦ってきた1年であると同時に、コロナによってデジタル教育が進みました。コロナ後を見据えた新しい時代に、新しい制服について議論します。本日はいろいろなご意見をいただけるのを楽しみにしております。

事務局

本日の議題は、「新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方」についてです。多くのご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、総合教育会議の設置に関する要綱第4条第1項により、ここからは市長が議長となります。よろしくお願いいたします。

市長

では、「新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、3つのテーマのうち1つ目、「みんなの制服プロジェクト委員会」についてです。1月29日に保護者、業者等を対象に丹陽町のアイプラザ一宮内の教育センターでの展示をスタートさせました。1日ずつでしたが全小中学校の巡回展示を全61校で3月12日までに終わりました。現在は3月26日までの日程で、ここ市役所4階、尾西庁舎、木曾川庁舎で展示しております。

小学1年生から中学2年生まで、1人1票ずつ家庭へ持ち帰り保護者と相談して投票しております。実際の投票用紙が、お手元一番下のカラー印刷のものです。現在集計中ですが、今のところ一番左のタイプ（ブラックネイビー）への投票数が多い状態になっていると報告を受けております。

さて、みんなの制服プロジェクト委員会は、最終段階に入っております。お手元の資料1・スクールユニホーム仕様書を4月の委員会で決定する運びとなっております。仕様書について簡単にご説明します。

1 ページには制服を製造する際に、正しい一宮の制服であるかどうかを確認する手続きの規定が示してあります。製造を予定しているサンプルを2段目の専門の試験センタ

一に持ち込み、検査に合格をしたことを、資料の最後 22 ページの申請書を教育委員会へ提出します。このサンプルの制服に、一宮市標準服マークをつけて販売という流れです。

2 ページ以降は細かい規定となっております。2 ページはマークの縫い付け位置、3 ページは基準の項目、4 ページから 20 ページまでは、上段に示された各種アイテムの仕様と裏側がその素材です。なお、4 ページの下段にあります指定ボタンについては、資料 2 のボタン案の内①②④⑤の 4 種に中のデザインがない物を加えた 5 種類で、3 月末にアンケート調査をグーグルフォームで行う予定です。標準マークは、資料 2 の 2 段目織りネームの B のデザインの予定です。

市長

説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたら発言をお願いします。

委員

ボタンの案にあります周りの ICHINOMIYA CITY…のアルファベットは確定ということでしょうか。

事務局

その通りです。

委員

グーグルのアンケートで何度も押して不具合が起きた例があります。1 人 1 回の集計は正しくできるのでしょうか。

事務局

委員会でも議論になっておりまして、初めての試みではなく、1 回ずつという願いを繰り返すしかないと考えております。

市長

同じアドレスからの投票は削除できるのではないですか。

事務局

それは削除しております。アドレスを変えられてしまうと対応できません。

市長

では、この 2 年間のまとめについて事務局から説明をお願いします。

事務局

2 点目について、資料 3 をお願いします。この令和の時代にふさわしい制服の協議については、令和元年 8 月定例記者会見よりスタートしました。スタート時、特に市長が示されましたことは、次の 3 点です。

- ①服育(衣育)の充実 (子どもたちの表現の手段として)
- ②シビックプライド(地域の良さ、繊維産業)を教育で伝える
- ③保護者負担への配慮

この場で、3 つの視点をどのように協議してきたか、その視点ごとに総括し、意見を

いただきたいと考えております。資料3の左側から日時・実施項目、内容、それぞれの視点についてどんな協議がなされてきたかをまとめたものです。

視点1「①服育(衣育)の充実」。子どもたちの表現の手段として、成果としては、児童生徒が、よりよい環境で学校生活を送るため、自分自身の問題として考える機会となったことが最も大きく、今回男女の差、性差を考えず議論を進めましたので、お互いの理解が進みました。

具体的には、左側のcode番号で言いますとcode5 夢サミットでは、男女がお互いの改善点を意見し合ったこと、code9 制服シンポジウム(中1・2年、小学生)では、制服の歴史、全国の状況などを学習し、全校での取組としては、code3、code10、2枚目のcode14のようにアンケート調査を実施しました。code12では全中学校で校内制服委員会を設置し、校内で議論を進めました。

続いて「②シビックプライド(地域の良さ、繊維産業)を教育で伝える」については、平成29年度より夢サミットでテーマを「だいすき一宮」として、一宮市の良さについて自分たちの考えを発表する機会としてきましたが、この制服プロジェクトは、より具現化できるチャンスとなりました。自分たちで、一宮市全体のことを決めて、一宮市の中学生でよかったと思うことができ、市民であるプライドが醸成されたということです。

なにより、議論して来た今の中学生は、自分たちは着用できない制服を自らのことと捉え考えました。これは、将来、当たり前のように一宮市に新しい制服があふれたとき、必ずや自分たちが考えたという「誇り」を持ってくれるものだと考え、具体的には、code5 夢サミットでのアイデア発表、code13 制服シンポジウムでの思いにつながっています。

最後に「③保護者負担への配慮」としまして、現在の詰め襟やセーラー服と同等の価格になるように設定される目途がありまして、「尾州マーク」があっても、負担は変わらないようにします。また、ブレザーの下はポロシャツでもいいのではないかという意見もあり、ポロシャツであれば男女に関係なく着用できます。code5 夢サミットでは、子どもがスカートやパンツなどいろいろ選択できると親の負担が増えると子どもからも心配する意見が出ています。

以上、3つの視点から総括させていただきました。質問でも結構ですし、例えば、各視点について、新たな協議内容をお示しいただいても結構です。よろしくお願いいたします。

市長

振り返りまして、皆さんどうでしょうか。ご意見等をお願いします。

委員

代表者だけが取り組んでいくという取り組みが多い中、こういう形でやっていただけるのは素晴らしいです。小学1年生で参加している子も高い関心を持っておりまし

て、この制服を着て中学校に行けるのを楽しみにしています。教育委員会の努力に感謝します。

委員

中学生のジャージ登校が多いようですが、こういう時はフォーマルで、のような指導や話し合いの場があるといいのではないのでしょうか。

事務局

コロナの感染予防のため、洗濯しやすいという点ではジャージが優れていますが、ご指摘はもっともでありますので、服育として議論していけるよう各学校へ依頼していく予定です。

委員

制服プロジェクトに関わってみて、良い意見がたくさんありました。例えば、ポロシャツになるのであれば今のスカートに上だけ替えてもいいとか、靴下は白よりも黒の方がよいなどの意見もありました。

事務局

良いきっかけになったと思います。靴下は紺の方が長く履けるのではないかとか、いろいろ考えてもらいたいです。

市長

ブレザーは1種類のオールシーズンで、スラックスは夏用と冬用があるということですか。

事務局

その通りです。

委員

娘が中学1年生でして、制服よりも靴や靴下が白だと汚れが目立つので不満があります。ブレザーに替わると革靴になるという噂もあるようですが。

事務局

学校で検討していくことになります。なぜ運動靴が必要かということ、体育の授業への対応や、通学の際に歩きやすいように、という点があります。

教育長

家にある物でもいいのではないですか。部活で靴を替えることもありますから、子どもたちにも考えさせましょう。

委員

着方は学校ごとに決めるのでしょうか。セーラー服を続ける学校もあるかもしれないということですか。

教育長

ブレザーやスカートなどは校長会との協議を重ねていますので、バラつきはないと思います。中に着るシャツやポロシャツはこれから決めていくことになりますが、細かく決め

るのは避けたいと考えています。

市長

では、最後に今後の取り組みについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料 3 の赤枠の部分です。5 月ごろに仕様書を開示し採用可否を協議して、7 月ごろに決定する予定です。今後、市民や子どもたち、保護者へ広げていくためにどんなことが必要なのか、委員会でも検討しておりますが、ご意見等あればご教示ください。

教育長

着せ替えを楽しめるアプリもあるようですね。

市長

七夕まつりでお披露目ができるといいですね。

委員

七夕パレードだといろいろな人の目に留まりそうですね。

事務局

他にご発言がなければ、これで令和 2 年度第 2 回総合教育会議を終了します。ありがとうございました。